

平成 28 年 3 月 11 日
商 工 中 金

「地域中核企業支援貸付制度」適用
あらゆるシーンで目を護る、高品質の光学技術で事業拡大を目指す
山本光学株式会社を金融面からサポート

商工中金は、平成 27 年 4 月に「地域中核企業支援貸付」を創設しています。この制度は、地域中核企業が収益力向上のために行う新事業進出や事業再編等を民間金融機関と協調して後押しし、地域の関連企業等への波及により地域経済全体の活性化を目指すものです。

商工中金（東大阪支店）は、同制度を活用し、山本光学株式会社（本社：大阪府東大阪市、代表者：山本 直之氏）に対し、民間金融機関と協調して、高機能レンズ開発と産業用保護ゴーグル事業を強化するために必要な資金 1 億円を融資しました。

山本光学株式会社は、明治 44 年にレンズ加工業からスタートした創業 100 年を超える企業です。現在では、スポーツ用や産業用のゴーグルなどを製造しており、中でも自社ブランドのスポーツグラス「SWANS」は、世界の有名スポーツ選手が愛用する製品となっています。また、仕入や外注で地元周辺の協力企業と数多くの取り引きがあり、地域雇用にも大きく貢献しています。

今回、同社は、長年培われた光をコントロールするレンズ加工技術を活かして、新たな高機能レンズの開発を行うとともに、日本人向けの産業用安全眼鏡や各種保護具分野を強化し、売上の伸長を図る事業計画を策定しました。本事業の拡大に伴い、地元の外注・納入業者との取引量を増やし、工場の新規雇用も含めて、地域経済の活性化に貢献していく方針です。商工中金は、こうした同社の計画を地域経済への波及効果や雇用拡大に貢献するものと高く評価し、民間金融機関と協調して必要資金を融資しました。

これからも商工中金は、同制度の活用を通じて、直接融資のみならず、経営課題に対するさまざまなソリューションや情報提供を行い、支援対象企業を核とした地域への波及効果の高い取組みを通じて地域経済の活性化へ貢献してまいります。

【山本光学株式会社の概要】

所在地	大阪府東大阪市長堂 3-25-8	資本金	230,886 千円
代表者	山本 直之	従業員数	240 名 (平成 28 年 2 月現在)
業種	スポーツ用品・眼鏡・サングラス・光学機器・産業用保護具の製造販売業	設立	昭和 47 年 8 月